



「たくさんのことを学んだ学校行事」

校長 長島 クミ子

10月に予定していた「6年修学旅行」「合同体育会」「1年校外学習」「1年秋探し」「2年図書館訪問、町探検」「4・5年プラネタリウム学習」どれも無事に行うことができました。感染対策をしながらの活動でしたが、予定通りできたことにほっとしています。みなさんのしっかりとした態度、とてもすばらしかったです。保護者、地域の方々にご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

どの行事も、感染対策をふまえた活動内容を先生たちが慎重に考えながら計画をたて、みなさんと準備や練習を重ねてきました。準備や練習から本番まで感染対策をしながら、一人ひとりががんばった結果、思い出に残る行事になったと思います。

合同体育会では、始まる前の昇降口でこんな声が聞こえてきました「緊張する」「うまくできるかな」など、終わった後は「よかった」「ちゃんとできた!」「うまくいった!」など、達成感あふれるみなさんの笑顔がとてもすてきでした。また、集団での表現も気持ちがひとつになり見ごたえがありました。みなさんの表現や競技の様子に感動しました。多くの人に見てもらうことは、1人では得ることができない効果がたくさんあることを実感しました。合同体育会を通して、「協力することのすばらしさ」「1つの表現を作り上げる達成感」「適度な緊張感と集中力」を学ぶことができたと思います。仲間とともにこのような経験ができることは学校のよさの1つです。11月には校内音楽会があります。今回の経験をもとにクラスの仲間と協力し、心を一つにしてすばらしい合奏を作り上げましょう。

感染者数も減ってきて、少しずつ以前のような活動ができるようになってきました。しかし、ここで気を抜かず感染対策を意識しながら新しい生活様式のもとで生活を続け、コロナ禍の収束をめざしていきましょう。

最後に、11月8日～12日は「心を潤す4つの言葉：おはようございます／ありがとうございます／ごめんなさい／はい」の推進週間になります。登下校時に地域の方々へ笑顔であいさつを行うなど、積極的に、気持ちのよいあいさつや返事、心をこめた素直な言葉を交わし、一人ひとりの心が通う学校や地域づくりをしていきましょう。合同体育会やその他の様々な場面で保護者、地域の方々にお世話になっています。感謝の気持ちをこめて毎日のあいさつを心がけましょう。